

南三陸 復興まちづくり通信

第42号 (平成29年12月発行)



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

三陸道「歌津インター」が供用開始！



三陸自動車道の南三陸道路のうち「南三陸海岸 I C (インターチェンジ)」と「歌津 I C」間の 4.2 キロが 12 月 9 日、供用を開始しました。開通式には地域住民や関係者など約 250 人が参加。くす玉を割り、テープカットをし、風船を飛ばして町内 3 つ目となるインターチェンジの完成を祝いました。開通区間には橋 3 カ所、トンネルが 1 カ所。2013 年 3 月に着工し、事業費は約 180 億円です。



(開通式でテープカットを行う関係者＝歌津 IC)

今回の延伸で、三陸道の起点となる仙台港北 I C からの距離は約 90 ㎞に伸び、走行時間で約 4 分短縮されます。歌津 I C は、4 月に開業した商店街「ハマレ歌津」から約 1.5 ㎞の距離にあり、6 月にリニューアルオープンした「楽天イーグルス平成の森球場」にも近く、観光客の増加や高校野球の大会誘致に期待が高まっています。来年度中には歌津 I C と歌津北 I C 間も供用が開始される予定です。

志津川中央復興住宅に自治会誕生！

町営志津川中央復興住宅 (147 戸) で 11 月 19 日、自治会の設立総会が行われました。同住宅の集会所で開催された総会には入居 123 世帯から 105 人 (委任状含む) が出席。自治会の名称を「志津川中央自治会」と決定したほか、規約や自治会費などを決めました。役員を選任では、佐々木守さんが初代の会長に就任。今後の活動計画については、新役員が協議をして決めていくことになりました。現在、一般開放による 2 回目の入居者を公募中で、1 月末に入居開始の予定です。



(挨拶をする佐々木会長と役員の皆さん＝集会所)

ペタンクで楽しくスポーツ交流

～ANA成田の社員が復興公営住宅訪問～

千葉県成田市のANA成田エアポートサービス(株)の若手スタッフ27名が10月13日、伊里前復興住宅を訪問。集会所で入居者らとペタンク大会を開催し、楽しく交流しました。終了後には、トン汁、焼きそば、フランクフルトなどが振る舞われ、和やかに会食しました。

同住宅での交流活動は昨年11月に続き2回目で、訪問スタッフのリーダー田所真志さんは「皆さんの笑顔を見ると我々もうれしい気持ちになります。これからもずっと交流を続けていきたいと思います」と話しました。



(フランス発祥の球技、ペタンクを楽しむ入居者たち)



(ひころの里「松笠屋敷」前で記念撮影をする参加者)

モアイバスで復興状況を見学

～戸倉復興住宅入居者らが町内巡り～

戸倉地区の復興公営住宅入居者と高台移転団地の住民が11月6日、モアイバスを利用して町内巡りのバスツアーを楽しみました。復興みなさん会が主催したもので、入居者ら18人が参加。みなさん会のメンバーのガイドで、役場新庁舎や歌津総合支所を見学したほか、町内に整備された公営住宅や高台造成地の住宅団地など見て回りました。入谷ひころの里「ぱっかり茶家」で昼食を楽しんだ後には、三陸道三滝堂ICの「道の駅」も視察しました。

デューク・エイセスの大須賀さんが演奏会

デューク・エイセスのメンバー大須賀ひできさんの「復興応援コンサート」が11月26日、歌津地区の高台移転「みねはた団地」の集会所で行われました。ドコモショップ古川中央店と団地自治会が開催したもので、団地や近隣の住民およそ40人が来場。大須賀さんは、ギターの弾き語りで「いい湯だな」「女ひとり」などデューク・エイセスのヒット曲を歌ったほか、オリジナルの「かたぐるま」などを披露。「上を向いて歩こう」の演奏では、聴衆も一緒に歌い盛り上がりました。



(コンサートの様子=みねはた団地集会所ホール)

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山26
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrk@gmail.com

当会は今年度、トヨタ財団と大阪コミュニティ財団から助成をいただいで活動しています。